

名古屋市女性会館のあらし

平成26年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	女性会館運営審議会	6
VII	平成26年度事業計画	7
	1 平成26年度事業の基本指針	7
	2 事業目標と具体的な事業	7
	(1) 「学習の場」の提供	7
	(2) 「交流の場」の提供	8
	(3) 「情報提供の場」の提供	9
	(4) 施設等の提供	9

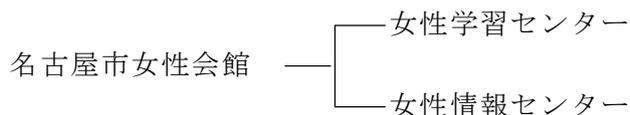
VIII	平成25年度事業結果	10
1	主催事業のあらまし	10
	具体的な事業展開	11
1	「学習の場」提供事業	11
2	「交流の場」提供事業	13
3	「情報提供の場」提供事業	14
4	その他	17
IX	平成25年度利用状況	18
1	開館日数	18
2	利用人数	18

I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置 第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる 実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

III 施設のあらまし

1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	※1 2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	立体駐車場
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	484.08㎡
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総工費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

※1 生涯学習推進センター分 96.17㎡含む

3 施設の案内

	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室	ホール
2 階	研修室（4）・和室（2）・視聴覚室 生活科学研修室・小会議室	第3集会室・図書資料室・録音室・モニター室・学習相談室・グループ相談室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム 事務室・印刷室・託児室・喫茶室 活動コーナー・応接室	第1集会室・第2集会室・情報フロア 交流ロビー・事務室・喫茶コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

女性学習センター・女性情報センター（図書資料室を除く）

午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで）

図書資料室

午前9時30分～午後8時30分（日曜日は午後4時30分まで）

(2) 休館日

毎月第1日曜日及び毎月第3木曜日

（祝日と重なるときは翌日も休館）

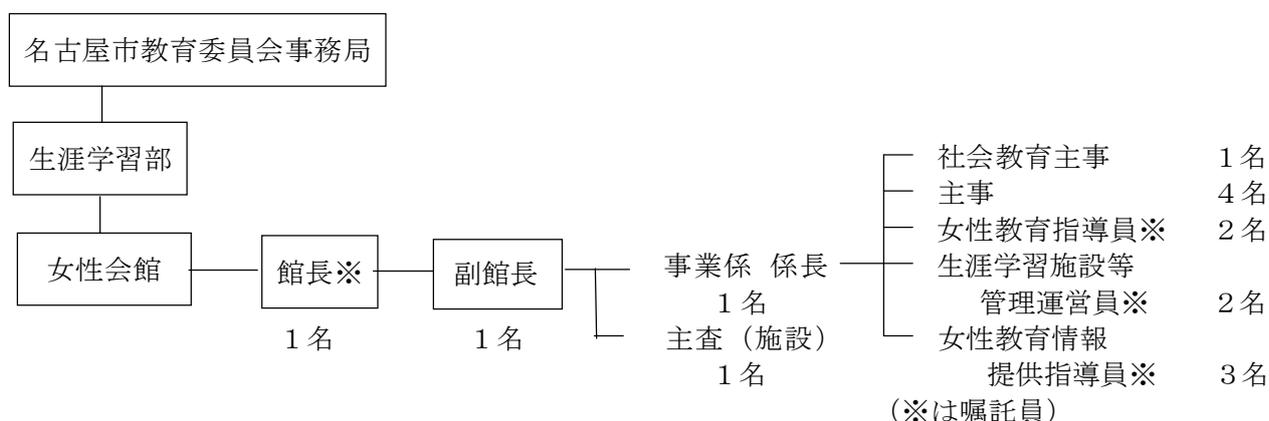
国民の祝日に関する法律に規定する休日

1月2日及び同月3日、12月29日から同月31日

5 部屋別一覧

	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	図書資料室	—	322.52
	視聴覚準備室	—	23.60	第3集会室	18	37.78
	第1研修室	54	70.80	録音室	—	10.52
	第2研修室	54	70.80	学習相談室	—	11.74
	第3研修室	54	70.80	グループ相談室	—	18.29
	第4研修室	30	49.80			
	生活科学研修室	54	81.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	26.70			
1階	事務・放送室	—	90.80	第1集会室	36	55.11
	館長室	—	21.40	第2集会室	22	36.77
	応接室	—	32.00	事務室	—	59.26
	文化活動室	50	108.00			
	託児室	—	87.00			
	印刷室	—	32.00			
	ボランティアルーム	—	26.70			
	談話室	—	60.10			

IV 組織及び分掌事務



事業係分掌事務

- (1) 学級、講座等の開設その他研修の実施に関する事。
- (2) グループ活動に対する助言及び指導に関する事。
- (3) 学習相談に関する事。
- (4) 図書、記録その他の資料の収集及び供用に関する事。
- (5) 情報の提供に関する事。
- (6) 資料及び情報に関する関係行政機関等との連絡及び協力に関する事。
- (7) 女性相互の交流を促進するための集会の開催に関する事。
- (8) ボランティア活動の奨励に関する事。
- (9) 施設の管理等に係る企画及び調整に関する事。
- (10) 施設及び設備の維持管理に関する事。
- (11) 使用料の徴収に関する事。
- (12) 女性会館運営審議会の庶務に関する事。
- (13) その他女性会館に関する事。

主査分担事項

- (1) 施設の管理等に係る企画及び調整に関する事。
- (2) 施設及び設備の維持管理に関する事。
- (3) 使用料の徴収に関する事。
- (4) 女性会館運営審議会の庶務に関する事。

V 予 算

(単位：千円)

事 項	平成26年度	平成25年度	増 減
女性会館運営費	61,487	68,987	△7,500
管 理 費	54,304	62,278	△7,974
学習機会提供事業	3,262	3,113	149
グループ活動援助	39	111	△72
情報提供相談事業	3,770	3,373	397
女性カレッジ	112	112	0

VI 女性会館運営審議会

女性会館の事業の運営について審議するため、名古屋市女性会館条例に基づき、教育委員会の附属機関として、名古屋市女性会館運営審議会を設置している。委員は、社会教育に関する団体の代表者、学識経験者、関係行政機関の職員の中から教育委員会が委嘱している。委員の任期は、2年である。

(平成26年3月31日現在)

選出区分	種別	氏名	備考
名古屋市女性会館条例第13条第3項第1号	社会教育に関する団体の代表者	谷本 雅子	名古屋市港区女性団体連絡協議会役員
		中野 桂	名古屋市立小中学校PTA協議会副会長
		桜井 真弓	託児の会「たんぽぽ」元会長
		山崎 すみ子	情報ネットワーク協会会長
名古屋市女性会館条例第13条第3項第2号	学識経験者	松田 武雄	名古屋大学大学院教授
		石田 裕久	南山大学教授
		東 珠実	椋山女学園大学教授
		境田 未緒	中日新聞社編集局生活部記者
		川久保 圭子	公募委員
名古屋市女性会館条例第13条第3項第3号	関係行政機関の職員	伊藤 康子	愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室長
		片野 靖江	名古屋法務局人権擁護部第一課長

(任期) 平成24年9月1日～平成26年8月31日
 公募委員のみ平成24年12月15日～平成26年12月14日

Ⅶ 平成26年度事業計画

1 平成26年度事業の基本指針

はじめに

名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。

平成26年度より男女平等参画推進センター（以下、男女センター）との一体的運営が始まり、指定管理者制度を導入する。女性会館は、これまでの実績を踏まえつつ、指定管理者の民間の力を借りることにより新たな視点を取り入れ、さらなる女性教育の振興に努めていく。

女性会館、男女センター、指定管理者の三者が一体となって、多様化・高度化する学習ニーズに応え、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる「学習の場」、「交流の場」、「情報の場」として、事業を展開していく。

2 事業目標と具体的な事業

※ ……で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

- ・ 系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。
- ・ 継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きで事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、高等学校・大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

② 託児事業

「学習支援託児」等、女性会館を利用する学習者、また団体・自主グループ活動に参加する学習者を支援する託児事業を行う。

(2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル 2014」の開催等、団体・自主グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主グループによる「グループ自主開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」を推進し、団体・自主グループによる学習の成果還元を支援する。

② グループの育成・支援

ア 講座学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする自主グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報提供の場」の提供

女性のエンパワーメントや社会的性別（ジェンダー）、男女共同参画の意識啓発につながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう学習相談を行う。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、社会的性別（ジェンダー）、男女共同参画の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸出しを行う。また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連したテーマでの図書・資料の企画展示や講座・講演会等でのガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 「広報なごや」「名古屋市だより（ラジオ）」等を活用した広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシ、新聞等を活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

(4) 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）14 講座開催。平成 25 年度は、1 歳児とその保護者を対象とした「“1 歳” になりました！～楽しく子育てしましょう～」や「ワタシが変わる『女性学』」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」を前期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「《男性保健師奮闘記》復興する力を“待つ” 勇気～東日本大震災における被災地支援から～」「リケジョ教員が語る！『わたしたちのすまいとエネルギー』」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を 13 回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催で「体感！ファシリテーション」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ 名古屋市男女平等参画推進室との共催で、男女の生き方をテーマに「ニュースで伝えたいこと」として特別講演会を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループや名古屋市博物館、名古屋市立大学と連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」68 回、「学習支援託児」13 回等実施した。
- ・ 託児対象年齢を「1 歳から小学校入学前」にした。（平成 23 年度までは 1 歳 6 か月から小学校入学前）

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

- ・ 女性会館で活動している学習グループのメンバー、個人で構成する「イーブネット・フェスティバル 2013」実行委員会の企画・運営を支援した。
- ・ 主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報提供の場」の提供事業

① 学習相談

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、職員による学習相談を行った。

② 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出し。講座・講演会に関連した図書を展示、貸し出しする「ブックフェア」を開催した。

③ 広報の充実

名古屋市公式サイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、「名古屋市だより（ラジオ）」、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期(5月～10月)・後期(11月～3月)の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児数(人)	
前期講座	午前	月	私が私らしくあるために ～生まれながらにもつ人権～(B)	5	30	35	33	6	
		火	“1歳”になりました! ～楽しく子育てしましょう～(D)	4	20	15	11	12	
		火	『女性学』明日へのエネルギーチャージ(A)	5	30	44	32	13	
		火	自分らしく生きる —身体と性と生をめぐって—(A)	5	30	22	19	14	
		水	こころのメール ～障がいのある女性とともに～(A)	5	20	27	23	5	
		金	託児ボランティア養成講座(C)	6	20	22	17	5	
		金	心理学～脳の本性とうまくつきあおう～(A)	3	30	抽選 130	36	11	
		金	子どもの揺れる心をつかめる親に(D)	4	30	43	40	13	
		午後	火	女性のための健康『くすり』講座(B)	3	40	抽選 56	47	6
			水	女性と表現(A)	4	40	45	37	7
前期計		10講座		44	290	439	295	92	
後期講座	午前	水	ワタシが変わる『女性学』(A)	3	30	12	9	4	
		金	新・家族のかたち(A)	4	30	28	23	7	
		土	親子でいっしょに“ホット”タイム ～夫婦で子育てを楽しもう～(D)	6	30	12	12	託児なし	
後期計		3講座		13	90	52	44	11	
主催講座計		13講座		57	380	491	339	103	
午後(土)		[なごや女性カレッジ] 体感!ファシリテーション(A)		5	30	抽選 57	36	9	
合計		14講座		62	410	548	375	112	
						受講率	83.9%		

※ 募集定員を超えて応募があった場合、定員は2割程度割増して受講を認めることができるため、受講率は増加後の定員(447人)を基に算出。

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数(人)	託児数(人)
公開講座	6月 8日	みんな一緒に生きよう ～タンザニアも日本も私の故郷～	スワヒリ語 講師 国嶋 ヤシタ	101	6
「いま」を 読み解く	5月 11日	《男性保健師奮闘記》復興する力を “待つ” 勇気～東日本大震災における 被災地支援から～	名古屋市 保健師 唐川 祐一	61	1
	6月 22日	〈なごや環境大学共有講座〉 リケジョ教員が語る！「わたしたちの すまいとエネルギー」	名城大学 准教授 吉永 美香	73	6
開館35周 年記念 セミナー きらっと輝 く！なごや の女性	7月 13日	三つ子を育てて ～母であり新聞記者であること～	中日新聞社 生活部記者 吉田 瑠里	86	10
	7月 27日	マイナス要素こそ幸運パワーになる ～ラジオパーソナリティーの実話～	ラジオパーソナリティー 川本 えこ	137	5
	9月 21日	心に響く美味しさへの情熱 ～好きなことのためにがんばれる幸せ ～	カフェタナカ シェフパテ イシエ 田中 千尋	171	13
名古屋市 博物館共催 特別展にみ る女性たち 2013	5月 21日	中国の王朝と女性たち	名古屋市博物館 学芸員	195	2
	8月 6日	見世物とマジックの世界 ～女性マジシャン松旭齋天勝、登場～	〃	89	7
	9月 25日	古代・中世のやきものの魅力	〃	92	4
	11月 28日	奥三河のくらしと花祭・田楽	〃	136	1
	1月 29日	文字で書きのこされた古代の女性たち	〃	154	4
	3月 20日	浮世絵における女性表現	名古屋市博物館副館長 神谷 浩	203	0
特別講演会	10月 5日	ニュースで伝えたいこと 男女平等参画推進室との共催	CBC アナウンサー 大石 邦彦	296	16
		13回		1,794	75

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内容	託児者・講師等	参加者数 (人)
講座託児	51回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	447
講演会託児	12回			68
なごや女性 カレッジ	5回			40
学習支援託児	13回			239
託児室交流会	5月10日 11月6日	講座託児説明会	託児の会 「たんぽぽ」	34
	7月3日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	20
なかっこ広場 中区子育てネット ワーク「なかっこ・ねっと」	7月19日	てづくりおもちゃコーナー、たんぽぽシアター、保健師による育児相談コーナー、中区役所他との連携事業	託児の会 「たんぽぽ」ほか	139
			合計	987

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブネット・フェスティバル2013の開催

テーマ「ありがとう そして 新しい出会い」

事業名	月日	内容等	参加者数 (人)
実行委員会企画 映画上映「SWITCH」、 エンディング	9月7日	人間の無限の可能性を追い続ける科学者、村上和雄博士の研究の軌跡と、遺伝子がオンになった人々の生き様を追った感動のドキュメンタリー映画の上映を行い、エンディングでは全館オープングループ活動デー参加グループの活動紹介など、参加者全員で交流	206
全館オープングループ活動デー	9月7日	全館を使って23グループが例会を開放	670
1/2 B紙展示	9月7日～ 9月30日	B紙の大きさを1/2にして展示 30グループの活動紹介・作品展示	5,523
合計			6,399

(2) 自主グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
ゆるヨガ	にこちゃんくらぶ	水	午前	4	20	7
子育て中の外国人をサポートしよう	ことばの会	金	午前	4	20	46
笑いヨガレッスン～自分のために笑いませんか～	ラスタークラブゆりりん	土	午後	5	20	7

(3) 研修会・交流会

事業名	月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	託児活動の確認 1回 講演会「子どもを伸ばすコミュニケーション術」ほか 5回	臨床心理士 土屋 由美 ほか	109
要約筆記ボランティア研修会	10月3日	求められる要約筆記～聴覚障がい者との交流を通して考える～	NPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 大橋 千鶴子	3
点訳ボランティア研修会	7月29日	音が心をつないで～全盲のハーモニカ奏者～	ひぐらしハーモニカ教室 伊藤 静生	55
子育てグループ交流会(子育てグループ交流会共催)	9月3日	「仲間と一緒に親子で体操」	健康運動指導士 平井 美穂	42
合 計				209

3 「情報提供の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習機会	施設	団体・グループ	指導者	資格	教材(資料)	学習プログラム	その他	合計
0	0	27	0	0	6	0	0	33

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	平成25年度	平成24年度
利用者数	5,893人	13,562人
利用者数のうち貸出利用者数	925人	2,565人
貸出利用冊数	1,474冊	4,004冊
予約・リクエスト件数	18件	59件
新規登録者数	63人	194人

イ 図書資料室での情報収集状況

資 料 種 別	平成25年度収集件数	平成25年度末所蔵数
図 書 ※1	235冊	19,003冊
雑 誌 ※2	35種	148種
全国行政機関発行資料(冊子) ※3	140冊	1,946冊
全国行政機関発行資料(機関誌) ※4	72種	85種
全国ミニコミ誌(紙) ※5	84種	96種
新 聞 ※6	14紙	30紙
ビ デ オ	0巻	253巻

※1 「女性白書2012」「男女共同参画社会データ集2012年版」「女性学Vol.19」「ジェンダーと国際教育開発」「アフリカ黒人女性とフェミニズム」「DVはいま」など

※2 「女性展望」「We learn」「女たちの21世紀」「婦人公論」など

※3 「女性の人権(人権教育啓発推進センター)」「女性のエンパワーメント国際フォーラム報告書(国立女性教育会館)」「女性セミナー 暮らしの女性学(むさしのヒューマンネットワークセンター)」など

※4 「NWE C男女共同参画統計ニュースレター(国立女性教育会館)」「アイセル通信Wave(静岡市女性会館)」など

※5 「学会ニュース(日本女性学会)」「VOICE OF WOMEN(日本女性学研究会)」など

※6 「女性なごや」「女のしんぶん」「ふえみん」など

ウ ブックフェア実施結果

回数	開催期間	テーマ	学習者数 (人)
1	4月15日～ 5月2日	ベストリーダー2012	139
2	5月10日～ 7月14日	主催講座特集① 「私が私らしくあるために」等 公開講座「復興する力を“待つ” 勇気」「中国の王朝と女性たち」等	373
3	7月26日～ 8月10日	主催講座特集② 公開講座「マイナス要素こそ幸運パワーになる」「見世物とマジックの世界」	82
合 計			594

(3) ホームページ（市公式ウェブサイト）へのアクセス件数

(単位：件)

トップページ	主催講座	講演会などのイベント	情報収集提供事業	雑誌一覧	新着図書情報	ブックフェア	学習相談
21,044	9,569	11,037	1,958	493	4,814	386	650

託児事業	施設利用	使用料	施設概要	交通案内	あらかし	リンクページ	合 計
2,071	5,971	2,396	3,576	9,589	611	844	75,009

4 その他

(1) 運営審議会

開催日	出席委員数
平成25年 4月15日	7人
平成25年 8月 5日	9人
平成26年 1月31日	10人

(2) ホール機器研修会

開催日	参加者 (人)
平成25年 4月11日	10
平成25年 5月14日	17
平成25年 6月13日	13
平成25年 7月11日	5
平成25年 8月 8日	10
平成25年 9月12日	0
合計	55

区 平成25年度利用状況

1 開館日数 176日（うち日曜 21日）

2 利用人数 131,589人（平成24年度 256,555人）

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

121,566人（平成24年度 235,901人）

区 分	女 性	男 性	計
午 前	34,807人	6,218人	41,025人
午 後	36,222人	10,431人	46,653人
夜 間	22,753人	11,135人	33,888人
計	93,782人	27,784人	121,566人

(2) その他の利用人数

10,023人（平成24年度 20,654人）

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	2,536人	644人	3,180人
ボランティアルーム	831人	24人	855人
録音室・モニター室	86人	9人	95人
図 書 室	3,438人	2,455人	5,893人
計	6,891人	3,132人	10,023人

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	件 3 7 9	% 7 4 . 8	人 7 , 7 3 9
中会議室	4 5 2	8 9 . 2	4 , 2 4 5
小会議室	4 4 3	8 7 . 4	2 , 8 1 8
大研修室	4 3 0	8 4 . 8	1 1 , 4 6 3
第1研修室	3 7 5	7 4 . 0	6 , 9 8 1
第2研修室	3 3 9	6 6 . 9	6 , 2 3 1
第3研修室	3 5 4	6 9 . 8	7 , 0 4 8
第4研修室	4 3 2	8 5 . 2	4 , 3 4 3
第1和室	3 4 4	6 7 . 9	1 , 9 3 7
第2和室	2 9 2	5 7 . 6	1 , 4 6 9
生活科学研修室	3 2 8	6 4 . 7	3 , 8 6 2
視聴覚室	3 2 4	6 3 . 9	1 2 , 3 6 9
文化活動室	4 6 6	9 1 . 9	6 , 5 0 3
第1集会室	4 1 8	8 2 . 4	4 , 9 2 4
第2集会室	4 4 2	8 7 . 2	3 , 7 3 2
第3集会室	4 5 2	8 9 . 2	3 , 8 3 1
第4集会室	4 0 6	8 0 . 1	7 , 2 1 7
ホール	1 8 9	3 7 . 3	2 4 , 8 5 4
合 計	6 , 8 6 5	7 5 . 2	1 2 1 , 5 6 6
平成24年度合計	1 2 , 8 3 3	7 7 . 2	2 3 5 , 9 0 1